

活気あふれる実習生



宮崎県立
都城泉ヶ丘
高等学校
新聞部
発行



左上から大久保先生、園田先生、境先生、村山先生、下沖先生、
左下から平田先生、尾崎先生、新地先生、児玉先生

きっかけ

平田望先生は、憧れの先生と働きたいと思っただけだ。
新地友美先生は、化学の楽しさをみんなに伝えたいと話した。

やるべきこと

下沖悠人先生は、本をたくさん読み、全体像をつかむようにした方がよいと話した。
園田真義先生は、睡

勉強のコツ

村山純仁先生は、勉強を楽しむことだとい

う。
境光志朗先生は、家で勉強する習慣をつけることだと話した。

園田真義先生は、勉強する意味を見つけ、目的を持って取り組むべきと語った。

後輩へ

下沖悠人先生は、大学選びの際は、学部で職業が決まるわけではなく、何を学びたいかをしっかり考えて志望校を決めた方がよいとアドバイスした。
(中村)

国境を越えた友情

4月から留学生として泉ヶ丘にやってきたワーキエン君。なお今回は英語で取材を行ったため英語表記としました。

What is your name?

"My name is Woravut Vardkien."

Why did you come to Japan?

"I came to Japan because I like the culture, the language is very cute and the anime too."

Are you enjoying your school life?

"Yes. It is quiet is a lot of fun. I have a lot of things in my club and in class. I'm in the badminton club."

What do you think was the best thing about coming to Izumigaoka?

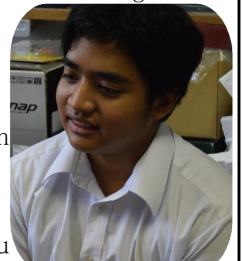
"The best things I think is that I made so many friends and classmates."

What do you want to do in Izumigaoka in the future?

"I want to make friends across the class and I want to participate in your events too."

(徳丸)

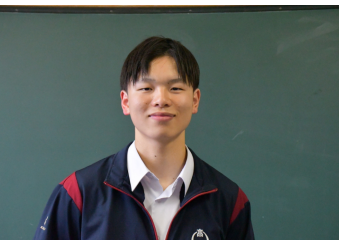
▲インタビューを受けるワーキエン君



生徒会長

5月10日の生徒会選挙を受け、第151代生徒会が発足した。今期の生徒会長には、2年7組牧誠一郎さんが就任した。今回、その就任した牧さんにインタビューを行った。

附属中出身の牧さんは、当時から附属中と高校の繋がりが薄いと感じていたようだ。今後は、附属中と高校を繋げていくことを目標



▲牧誠一郎さん

にも、生徒に毎日の学校が楽しいと思ってもらえる生徒主体の学校を目指していきたいと話した。また、校則など、きまりを時代に合わせた変えやすいような仕組み作りを取り組んでいきたいそうだ。

牧さんは自分の強みではなく、生徒会の一員として要領よく

誰を思い浮かべるだろうか。夏目漱石、芥川龍之介など数多く存在する。6月19日は太宰治の命日であり桜桃忌となっている。今回は太宰治について紹介しようと思う。

▼太宰治、その名を聞いたことのない日本人はいないと言えるほど有名な小説家だ。彼の書いた小説の中でも「走れメロス」は教科書で誰もが一度は呼んだことがあるのではないだろうか。「走れメロス」は主人公メロスと友セリヌンティウスの信頼や友情に関する物語だ。最後まで読んで感動したという人も少なくはないだろう。▼この話のように太宰治は人の内面について、のり、明るいものから暗い雰囲気、満ちたものまで多くの種類の小説を執筆してきた。人間失格などもその一つだ。学校の図書館には太宰治に関する小説が多く置かれている。この機会に読んでみるのはどうだろうか

(筒井)

